

11月9日から

秋の全国火災予防運動が始まります



昨年中、都城管内において、86件の火災が発生し、3人の死者と8人の負傷者が出ました。これから空気が乾燥し、火災が起きやすい時期を迎えます。火の元には十分気を付けましょう。

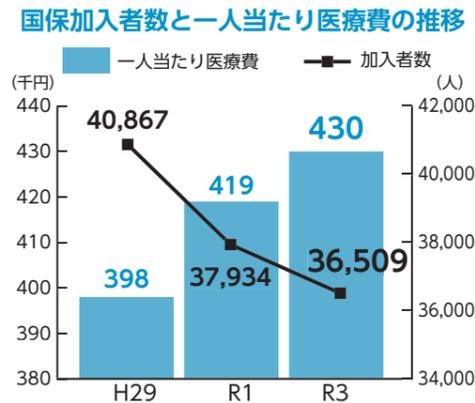
◎問い合わせ 消防局総務課 ☎22-8882
※火災の問い合わせ(自動音声) ☎22-8500

国民健康保険(国保)の健全な運営に協力ください

国保は、病気やけがをしたときに、医療費などの負担を軽くするために、全ての加入者がお金を出し合って、互いに助け合う制度です。今回は、国保の運営に大きな影響を与える医療費の現状や、国保税の状況について紹介します。 ◎問い合わせ 保険年金課 ☎23-2127

増え続ける医療費

国保の加入者数が年々減少する一方で、国保加入者の高齢化や医療技術の高度化に伴い、1人当たりの医療費は増加傾向にあります。令和3年度の1人当たりの医療費は約43万円となっています。



医療費の抑制のために

定期的な健康診断の受診

特定健診や人間ドックなどを定期的に受診し、病気の早期発見や早期治療を心掛けましょう。

医療費通知書の確認

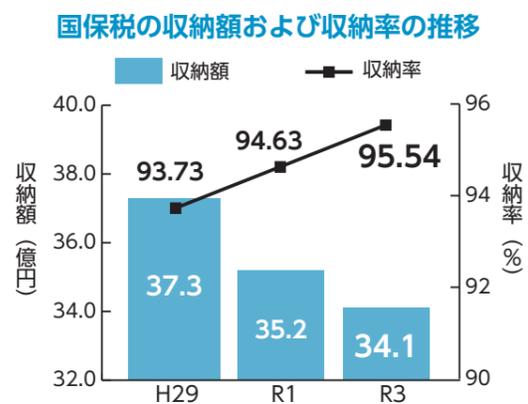
市は、治療にかかった医療費額を年6回通知しています。自己負担額を確認して、医療費に対する関心を高めましょう。

ジェネリック医薬品の利用

新薬に比べて価格が安いので、支払う代金の軽減や医療費全体の抑制にもつながる「ジェネリック医薬品」を利用しましょう。 ※ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分で作られていて、同等の効果があります。また、味や臭いの改善、保存性の向上など、さらに工夫されたものもあります。

国保税の収納率・収納額

国保税の収納率は年々上昇していて、令和3年度は95.54%で、過去最高の収納率を達成。しかし、加入者数の減少に伴い、収納額は減少傾向にあります。



国保税確保と税負担の公平性を保つための取り組み

- 夜間窓口の設置
毎週木曜日(祝日を除く)に、19時まで時間を延長して、納税相談を行っています。
- 納税お知らせセンターの開設
センターでは滞納者に直接電話で納付を促します。

主な火災原因

都城管内では、たき火が6年間連続で火原因の第1位。令和3年は24件発生していて、たき火が原因で死者が発生した火災も起きています。

火災防止対策

- ごみの屋外焼却は原則禁止 ※屋外焼却を発見したら、環境政策課(☎23-2130)や各総合支所地域生活課に連絡ください
- 家庭から出るごみや草木類は適正に分別し、指定袋でごみ集積場に持ち出します

11月9日は119番の日

火災や救急を通報する上で、一番重要なポイントは、真っ先に「消防車や救急車が向かう場所」を伝えることです。消防局指令課では、119番通報が入ると、災害場所に近い消防署や分署に出動指令を出します。そのため、消防車や救急車を1秒でも早く現場に向かわせるには、いち早く場所を特定する必要があります。まずは、住所や目標となる建物、交差点などを落着いて正確に伝えてください。

財産調査・差し押さえによる滞納処分

滞納者に対して、財産の調査に基づいて、預貯金など財産の差し押さえを行っています。

口座振替の促進

国保税の納め忘れを防ぐため、口座振替を促進していて、4月からWebでの申し込みができるようになりました。申し込み方法など詳しくは、保険年金課にお問い合わせください。

マイナンバーカードの健康保険証利用が始まっています

令和3年10月からの本格運用に伴い、利用できる医療機関なども順次増えています。利用には事前登録が必要です。セブン銀行ATMやパソコン、スマートフォンを利用してマイナンバーから申し込みください。また、保険年金課や各総合支所、各地区市民センターでも登録補助を行っています。 ※これまで通り健康保険証でも受診可能



「ケース①住所が分かる場合」

住所を番地まで伝えてください。

「ケース②住所が分からない場合」

目標物を探しましょう。建物や交差点、バス停、橋の名前などを伝えてください。

「ケース③住所も分からず周りに何もない場合」

スマートフォンからGoogleマップを開き、マップの中から自分の位置をタップして、位置情報を取得。緯度と経度を伝えてください。



119番通報のしくみを知ろう

消防局では、YouTubeチャンネル「動画都市」で119番通報の注意点をまとめた動画を配信しています。QRを読み込むか「都城119」と検索ください。

